

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成20年4月23日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1170202244
法人名	株式会社カネット・ふれあい
事業所名	ふれあい多居夢川口
所在地	〒334-0056 埼玉県川口市峯57-7 (電話) 048-298-6781
評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年4月23日

## 【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年6月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 13人, 非常勤 5人, 常勤換算	15.6人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄筋造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	65,000 円	その他の経費(月額)	30,000円 + 実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (150,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	550 円
	夕食	500 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	4 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.4 歳	最低	66 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	新田整形外科医院、戸田中央総合病院、こすげ歯科医院
---------	---------------------------


## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、落ち着いた住宅街の中にあり、隣には畑があるため利用者は自由に畑仕事など楽しんでいる。住環境は、広い廊下や階段、衛生面に配慮した玄関入口に手洗いなど工夫がなされている。事業所独自の理念は、現場の職員がともに共有し、介護の現場に即した具体的内容となっている。管理者および職員は、地域に受け入れられるよう、自治会や行事などにも積極的に参加する姿勢がある。また、管理者や職員は、ホームを地域の中の親しみやすい存在となるような働きかけを心がけ、利用者一人ひとりの生活歴を尊重し、さまざまな役割や趣味を援助している。散歩や近隣への買い物、外食や日帰り旅行など、利用者の外出の機会も多く取り入れられている。入浴は、曜日と時間を決めていない。食事の献立は、各ユニットごとに職員が利用者の希望も取り入れつつしている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題であった洗剤、漂白剤の置き場所については、利用者の手の届きにくい上段の棚にまとめて置かれてあった。また、地域の連携についても、管理者及び職員の積極的なかわりあいがある。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の各項目について、改善点と留意点を文章化し、各職員が認識し、検討している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議は、市の地域包括支援センター職員、各ユニットから利用者家族、民生委員、地域の役員およびホームの職員が毎回参加している。ホームの現状報告をはじめ毎回議題を決め、3ヵ月に一度定期的の実施し議事録として保管している。また、会議で話し合われた意見などは、管理者からリーダーに伝達され、ケアの実践にも反映される。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月利用者家族へは、ホームの便りが送られるほか、一人ひとりのホームでの心身状況や生活の様子を記した職員からの手書きの手紙も添えられなど、家族への連絡はかかっている。また、家族がホームに来所した際に、直接、意見や要望など話し合いもなされている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームのオーナーが地域の世話人でもあり、地域の行事や自治会への参加、近隣の学校との交流など地域の中にあるホームを意識している。

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人がかかげる理念のほか、「和を大切に」という事業所独自の理念があり、さらに実践に即した具体的内容についても提示してある。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者及び各職員は、事業所の理念をケア会議などの話し合いの中でその都度確認し、日々の実際のケアに生かすよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の小学校の運動会への参加や授業の一環として、ホームに子どもたちが来訪している。また、地域の祭りや行事にも積極的に参加している。隣接するホームの畑での地域の人々との交流もある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び各職員は、自己評価について職員の会議などで話し合いの機会をもち、評価内容について、要改善点、要留意点を文章でまとめ実践に活かしている。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は3ヵ月に一度定期的の実施され、利用者の状況やサービスなどホームの現状報告をはじめ毎回議題を決め、話し合いがもたれている。また、会議で話し合われた内容や意見などは、管理者からリーダーに伝達され、ケアの実践にも反映される。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市が主催する連絡会議や研修などに積極的に参加をしている。また、入居時の利用者の状況によっては、市の福祉課との連携を密にすることもある。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、ホームの広報誌を郵送しているほか、職員が手紙を送ることで、利用者一人ひとりの健康状態やホームでの生活の様子などを個別に家族に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見等については、リーダー会議で管理者や職員で検討され、それをホームの運営やケアに反映させる体制をつくっている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	個々の利用者に対して、居室担当やリーダー、管理者等がかかわりを持つことで、異動などがあっても利用者への影響が少ないように配慮している。また、職員の勤務形態の希望を極力受け入れ、離職がないよう職場環境を整えている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人として入職時の他に定期的な研修を実施している。また、外部研修については、法人で予算等も組まれており、職員対して掲示版で告知し、外部研修の参加の機会を確保している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市が主催する地域の交流会や研修、グループホーム協議会等に積極的に参加し、ネットワークやサービスの向上などに努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の見学時に、本人や家族に希望や意向などの聞き取りを行っている。また、本人の生活歴や性格、嗜好、趣味などを職員が把握することでホームでの生活に馴染めるように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人のことばに耳を傾け、思いや気持ちを尊重したケアの実践に取り組み、ともに支えあう関係づくりに努めている。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活歴や生活のリズムを大切に、また、家族等から本人の意向や思いを把握し、その人らしい暮らし方を尊重している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用開始時に本人や家族等の意向を聞き取り、それをもとに職員のカンファレンスで検討され、介護計画の原案を作成し、本人や家族等の確認と同意を受けている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月一度のカンファレンスによって定期的に見直しが行われている。また、本人の心身状態の変化によって、その都度見直しがされ、現状に即した介護計画の作成をしている。また、検討する利用者を決めて定期的に話し合いがもたれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診等のための移送や介助など、状況に応じた支援をしている。また、個々の福祉用具の選定の相談や購入などの支援も行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人と家族等にかかりつけ医等の意向を確認し承諾を得ている。ホームでは、地域で在宅医療を行う医療機関による1ヵ月に2回の訪問診療を実施している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状況に応じて、訪問診療時や受診時に家族等と医師を交えて話し合いを行っている。		重度化、終末期について、今後、本人や家族、医師、職員などによる話し合いやホームとしての方針等を共有していくことを期待したい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、日常生活で普段遣う言葉のなかに、一人ひとりを尊重した配慮がなされている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでの日課やプログラムなどは無く、一人ひとりのペースに合わせた生活を大切にしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや要望を取り入れ献立をたて、利用者と職員が協働して調理を行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の曜日や時間等の決まりは無く、好きなときに入浴している。また、入浴チェック表にて、一人ひとりの入浴の状況を把握している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌や競馬鑑賞など利用者一人ひとりの趣味や嗜好、また、生活歴を活かした畑仕事、洗濯、調理などを行ないホームでの役割や楽しみなどを感じられるように職員は積極的に支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩や近隣の季節の行事、買い物などに出かけている。また、利用者一人ひとりの希望を取り入れながら、日帰りのレクリエーション(外出援助)やドライブ、カラオケ、毎週の夕食も行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵については、利用者の意思で自ら施錠している方はいるが、日中はホーム玄関等を施錠することはなく、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の定期的な防災訓練を実施している。		職員が少ない夜間の緊急時の対応については、今後も検討が望まれる。また、地域運営推進会議等を活用して近隣住民との協力や理解を求めていくことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>職員がユニットごとに利用者に合わせて献立をたて、一人ひとりの状態に合わせて内容を変更したり、食事量を調整している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間には、五月人形など季節感が感じられるような飾りつけを行っている。また、居間や食堂などは生活感があり室温や採光も適度である。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前に使用していた使い慣れたものについては、持参して居室で利用できるようにしている。利用者一人ひとりの生活歴を尊重して、居室の家具等の配置も工夫している。</p>		